

令和6年5月7日

プレイスメイキング等の実証実験提案書

活動名	屋外公共空間で人がつながるエリマネに向けた街路イベントの実証実験
提案者	番九クリスマスマルシェ実行委員会（提案担当 木下勇）
提案者の所在地	千代田区三番町12 大妻女子大学
【下記事項について記載してください。】 開催時期：令和6年11月23日（雨天の場合24日） 活動場所：区道236号線（大妻女子大学E・H棟の間）を中心に公開空地を含む屋外公共空間 目的：昨年好評であったクリスマスマルシェを定例の催しに定着をはかる。さらに地域内の街路や公開空地を子どもはじめ多世代が屋外に出て楽しむ場へと、地域内の人や団体の横のゆるやかな連携を広げ、ゆくゆくは地域の屋外公共空間での都市生活のQOL向上をはかるエリマネマネジメント体制構築（協議会準備会）へのきっかけとする 活動内容：第2回番九クリスマスマルシェを企画、準備する過程で、地域内のステークホルダーの団体やキーパーソンとの丁寧なコミュニケーション・プロセスを設ける。スクリーンタイムからグリーンタイムへと、子どもから高齢者までが緑豊かな屋外で憩い楽しめる環境の形成と運営のネットワークを形成する。そのための勉強会や小さなワークショップを重ねて本番の催し（マルシェ）開催につなげる。	
【開催までのスケジュールを記載してください。】※エリマネ：エリマネマネジメントの略 令和6年 5月 番九クリスマスマルシェ実行委員会今年度企画と第1回エリマネ勉強会 6月 クリスマスマルシェ実行委員会今年度企画と第2回エリマネ勉強会 7月 大妻みちあそび開催時に、隣接地にて展示。第3回エリマネ勉強会兼ねて可動式プラントーやEdibleWay設置実証実験。地域の街路や公開空地への意見聴取ワークショップ。 8月 番九クリスマスマルシェ開催に向けて拡大実行委員会（新たな参加者を交えて）および第4回エリマネ勉強会。道路占用、道路使用許可手続き協議開始 9月 番九クリスマスマルシェ実行委員会＋第5回エリマネ勉強会、広報開始 10月 番九クリスマスマルシェ実行委員会＋第6回エリマネ勉強会、実施体制確認 11月 番九クリスマスマルシェ実施。開催時、意見聴取モニタリング実施。実施後のふりかえり＋第7回エリマネ勉強会（エリマネ協議会準備会への課題と連携の方針づくり）	
【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題とそれに対する解決等を踏まえて）】 当該道路は車交通量も多くなく、これまで大妻みち遊びの催し、そして昨年はクリスマスマルシェの第1回が開催され、一時閉鎖して子どもの広場、多世代が楽しむ場として親しまれた。このような催しを「もっと開催して欲しい」という声の子育て世帯等から寄せられている。今年度はクリスマスマルシェ開催への準備過程で国内外の公共空間活用のエリマネ先進事例や制度改善、子ども参画の持続可能なまちづくり、運営体制などのエリマネ勉強会を開催する。その勉強会にさまざまなステークホルダーを招いて、勉強会から共有のビジョンを描き、ゆるやかな連携の協議会の準備会に結びつけたい。地域では総合設計制度を利用して高層マンションが建っているが、他地域でエリマネを展開する大手不動産会社の参加も促して、連携の輪を広げていきたい。	

【今回提案する活動の実施体制や収支予定について記載してください。また、今回の実証実験後の活動について検討されている場合はそちらも記載してください。】

(実施体制)

番九クリスマスマルシェ実行委員会

昨年度の体制を基本に参加者・団体を拡大していく**開かれた**実行委員会

実行委員長・副実行委員長 学生、 実行委員長補佐（副実行委員長） 木下 勇

事務局 山森彩香（コミュニティパートナー（株）代表取締役）

監事 中村由紀（東郷公園みんなの畑）

監事 矢野周子（九段二丁目町会）

協力団体（昨年実績） 九段二丁目町会、九段商店街新興組合、ジョブサポートプラザ ちよだ、(株)Tree to Green、大妻女子短期大学堀口美恵子教授と食育ボランティアグループ「ピーち」学生サークル ヘルシーキッチン、バルーンアート同好会、大妻女子大学書道部、NPO法人 移動式遊び場全国ネットワーク・つむぎやさん、(株)東京ケーブルネットワーク等

(収支予定)

収入 500,000 円（本申請事業）

支出 子どもの遊び催しプレーカー&プレーワーカー謝金 100,000円、勉強会講師謝金 20,000×5=100,000 円、暖房器具等レンタル100,000円、警備謝金 50,000円、消耗品類 150,000円

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

・イベントのためのイベントではなくイベントを通して（そのプロセス含む）、道路や公開空地等の公共的空間を使い人が外で楽しみ、人、団体がつながり、エリマネ協議会準備会を構築していくプロセスを重視。

・子どもを抱えた若い世帯が増えている当該地域において、公園等遊び場が少ない状況に対して、子どもが外で遊べる環境づくり、緑の回廊で風の道、生態系ネットワークづくりのビジョンを描き、それを共有することもそのプロセスに設ける。

・マルシェの企画実行委員会を半分・勉強会半分の開かれた学びの実行委員会。大手不動産会社が他地域ですすめるエリマネについて担当者を講師で招き勉強しながら、当該地域での展開について共に考える関係を育てる。

・子どもが遊びの場を提供される受け身的存在ではなく、子どもたちも大人と対等に、街のことや本企画に意見を言うような子どもとともにまちづくりを進める実証実験も行う。

【区からサポートしてほしい事項を記載してください。】

・道路占用手続きの支援（可能ならば無料化）

・周知・広報

・計画・運営体制構築への助言、エリマネ準備会（勉強会含む）への参加

※上記に加え、企画書などの補足資料を添付していただいても構いません。